



第36回文化祭開催

10月24日道新ホールで舞台発表、作品発表は同日から29日までギャラリー大通美術館で開催された。学生たちは日頃の学習の成果を存分に発揮した。

加藤学長から開幕の挨拶として「コロナ禍の中、一度も休まずに文化祭を開催し続けられたことは皆様のおかげです。これからもウイルスに留意して健康に過ごしてください。また、年々歳を重ねていき物忘れも増えてくるかと思いますが、日めくりカレンダーにちょっとしたメモを書いたりして今日は何をしようかなど一日にけじめをつけて日々過ごすのも良いかと思えます。ひとりで過ごすのは寂しい、友人や周りの人に支えられながらこれからの時間を有意義なものにしてください。UHB大学を大いに活用して日々を活性化させてください」と述べた。

まず初めに、カラオケ講座(渡辺弘



子講師、山口里美講師)は「青い山脈」を男女各4人の計8人で歌い、「アカシアの街で」「ブルーライトヨコハマ」「夜霧の慕情」「また逢う日まで」「お久しぶりね」「哀しみのラストタンゴ」「マイ・ウェイ」のソロ7曲をそれぞれが持ち味を最大限に生かし披露した。

次に健康太極拳講座(浦田順子講師、五十嵐香織講師)は、呼吸を曲に合わせてながら12人は24式太極拳を伸びやかに演舞。

続いてコーラス講座(鈴木真由美講師、葛谷奈緒講師)15人が力を合わせて熱唱した。

個人発表では、34期生大坂洋子さんのピアノ伴奏に合わせ3曲の歌曲が披露された。そして昨年に続き、UHB大学川柳コンクールが開催され表彰式が行われた。

入賞作品

佳作

「やれやれは はればれとなれ
もうすぐ卒寿」

30期生 花澤 紀男さん

「老いてから 学ぶ尊さ 老いて知る」

UJ会員 種田 昌介さん

「リハビリと 脳活目指し UHB」

22期生 箕崎 由紀枝さん

優秀賞

「逆らわず いつも笑顔で 老いの道」

36期生 伊藤 一輔さん

「席空いて 今日はどうしたのかと 気にかかる」

35期生 荒木 繁美さん

学長賞

「名が出ない おなじおなじと 笑み交わす」

22期生 中村 隆昭さん

「うなずいて 今朝得た講義 何処へやら」

35期生 泉 敏博さん

最優秀賞

特別ゲストは大平由美子さん、テーマは「演奏活動と共に生き」。ドイツで活躍されたのち帰国、札幌で演奏活動をしながら後進の指導にも尽力されている。



ペーターヴェンの「月光」「エリーゼのために」、ショパンの「ノクターン」などピアノでお馴染みの曲を披露し、文化祭の会場は柔らかな音色に包まれ芸術の秋を堪能した。

最後に柳トップ・クリエーション菊谷康行社長が挨拶し閉幕した。



作品発表は、10月24日から29日までギャラリー大通美術館で行われた。写真講座(細井優講師)テーマは自由課題。美しい瞬間を収めたアオサギやひまわり、草木や空など11人の渾身の作品が勢ぞろい。水彩画講座(佐藤潤子講師)の作品は25人による風景画、屋外での実習を主体に活動し、札幌市資料館やサッポロビール園など札幌市民にお馴染みの場所へ赴き、筆を走らせた作品が並ぶ。

広 告



書道講座（小比賀秋水講師、高橋麗仙講師、吉田裕秋講師）はダイナミックな掛軸や繊細な文字など15人の力作が並ぶ。のし書きや年賀状宛名など実用的な書も多数展示。

陶芸講座（下沢敏也講師、大石俊久講師、松浦功典講師）は穴窯を使った作品や個性豊かな花器や皿、秋の代名詞の栗のオブジェなど21人の作品を展示。パソコン講座（新明麻里講師）は6人のポスター作品。文字や画像を組み合わせるポップなグラフィックデザイン作品に仕上げていた。個人発表では、シャドウボックス、絵手紙ほか多数の力作を展示。皆さんの多彩な作品に連日多くの人が会場を訪れ賑わった。

「活きる」こと



UHB大学
陶芸講座
講師 下沢 敏也

ふるさとの思い出といっても札幌生まれ札幌育ち、特別なことはあまり思いつかないが記憶を辿ってみた。私は三人兄弟の次男で末子である。既

私のふるさと ④3

に父親が亡くなつてから21年が経つ。父が陶芸家でうちの長男は仕事を継がずなぜか自分が受け継いだ。父は十勝の広尾町の漁師の家に8人兄弟の次男として生まれ兄弟の中で変わり者だったらしい。家業を継がず郵政省に勤めた。とにかく字を書くことが好きで、特に書を書くことが好んでいと聞いている。その後第二次世界大戦があり終戦後4年間シベリアに抑留さ

れながら生還した。最近りの手伝いに行つたことがあ「ラゲリより愛を込めて」とる。夏はコンブ漁の為、街中のいう映画を見たが、本当に生 自宅から黄金道路沿いの家にきて帰つて来ることでできたのは奇跡のようだと思底思う。 早朝から叔父さんが昔、酒を呑んだ時シベリアの話 昆布を自分たちが車に積みをするのが稀にあつたこと 込で運び干していく。浅瀬かを記憶している。この経験が 人生の大きな転機になつたと 昆布を運んでいる時大きなよく話していた。とにかく何 カニがあちらこちらにいつぱい事にも、わが家の中心の的で 氣を取られていたら叔父さ一生懸命に向き合い辛い時は んに怒鳴られた覚えがある。「何くそ」と言いながら頑張つ そんな仕事を1ヵ月ほど

ていた。きつと生死に関わるこ 行つたが、最初は戸惑つたけれどを経験してきた強さなのか。 どもとにかく何もかもが新鮮 思い起こせば、私は子供の だった。目の前の海で魚釣り頃陶芸はあまり好きではな をして、夕方は船で沖の網をかつかもしれない、それはた 上げ自分たちの食べる魚を引だ手伝いが嫌なだけだったよ き上げる。 風呂は五右衛門うに思うが、いつの間にかも 風呂で川の水をくんで薪で焚のを作ること、土の魅力に取 のだが全てが初めての経験り憑かれて行きそれが今も続 である。 北の大地と酒、そしてもの ひとつ思い出といえば、中学 を作ることが好きなどころは 一年の夏休みに初めて一人 受け継いだのかもしれない。 父の故郷である広尾に昆布と

広 告

2023年度 選 択 講 座 だより

写真講座

令和5年度テーマ「光を読もう」

今年度は新人1人が加わり、13人で細井教室が始まりました。教室の授業は、野外での撮影実習が中心で、円山公園、中島公園、札幌資料館、知事公館などで撮影しています。撮影した写真を組写真に構成して、全員の写真を見せ合い、細井先生より講評・指導していただく会を4週間に1回程度開催しています。理論・実習・発表のもとに、日々努力しています。細



井教室の授業は4年間で学ぶ構成となっており、今年度は「光を読もう」をテーマにしています。①光の量（露光量）絞り・シャッター②光の方向（ライティング）③光の質④光の明暗比（コントラスト）を意識し、撮影を行っています。文化祭の作品は、この光を読むことを意識し、それぞれが個性的で、感動できる作品を制作しました。

今年は本当に暑い中で撮影が続きましたが、ベストショットを目指し、気合いを入れ続けたいと思っています。（梁瀬邦之 記）

水彩画講座

水彩画で自分自身の感性や思考を表現しましょう！

コロナ感染症が5類に移行されてから少しずつですが、以前の生活行動に戻りつつある中、新しい仲間5人を迎え総勢25人で今年度の佐藤教室はスタートしました。まずは簡単に当講座のカリキュラムから紹介させて頂きます。（年間35回/70時間の授業内容）

4～5月は教室で（テレビ塔2F）静物画を描く練習をします。芸術鑑賞（5・11月）近代美術館、芸術の森（年度により場所・鑑賞月の変更有）

6～9月は野外写生会で中島公園、八紘学園、サッポロビール園、札幌市資



料館4カ所×3日間（年度により場所の変更有）

10月以降は教室で（デッサン・静物画、人物像他を描く練習をします。この他、10月と3月に合評会、10月に文化祭発表会）があります。

【合評会】野外写生会他で画いた「渾身」の作品を持ち寄り受講生全員で鑑賞、意見交換しながら、佐藤先生の評価・指導を頂きます。

【文化祭】作品発表の場です。

佐藤先生のご指導は、初心者には画材選びから画き方の基礎知識を（感性を重視し自分の思うがまま自由に描かせるのが基本スタンスです）中・上級者にはより高度な技術を身に付く様にと一人一人のスキルに合わせて丁寧なアドバイス・添削等を情熱を持って指導して頂けます。余談ですが、本講座の生徒は画くのも好きですが、懇親会も大好きです。歓迎会に始まり、旅行・ビアガーデン・忘年会他行事が日白押しです。幹事さんの企画・調整力にはいつも感謝です！

ヨガ講座

（鎌田昭夫 記）

最後に「理想を失う時に初めて思いが来る」という名言があります。絵を描く創作活動は、主に右脳（映像・イメージ・想像力他）を使うことから脳を活性化し記憶力を鍛える事につながって、物忘れを防いだり、軽度認知症の予防になるとも言われています。是非、上手、下手に関係なく描くことを楽しみたいと思っている方は、私達と一緒に学び幸福感・満足感を得てみませんか？今楽しんでる素晴らしい仲間達と！

楽しいヨガ講座で健康増進！！

ヨガ講座には現在25人が在籍しています。うち女性が22人と圧倒していますが、3人の男性もそれぞれ存在感を発揮しています。年齢層は60代前半から94歳まで幅広く、皆仲良くいつも和やかでとても風通しの良い講座だと思っています。



広 告

講師は男性の水野先生と女性の小野寺先生が担当され、各週交互に指導頂いています。指導スタイルはそれぞれ違いますが、逆にメリハリがあり、親身な指導の下でとても楽しい講座となっています。ヨガの基本である体の動かし方だけでなく、健康に対する貴重なアドバイス等もあつて、いつも勉強させてもらっています。体を動かす際には『無理せず出来る範囲で！』と言う先生の優しい言葉があり、体の堅い私のような生徒にとっては、誠に救いの言葉となっています。私は当初何となくの思いで講座を選択したのですが、今では呼吸を整え体を動かすことの充実感は何とも言えません。まさに健康を維持し体を鍛える最適なスポーツとさえ思われます。機会があれば皆さんも是非チャレンジしては如何でしょうか！

(渡辺 敏郎 記)

書道講座

書道を身近に

現在受講生は、男性5人女性11人の合計16人でテレビ塔2階での教室となっています。毎月の教本を基にペン字、筆ペン、毛筆などを3人の講師の指導をいただき実践しています。

書道を学ぶ事により、文字の歴史、漢字の成り立ち、新しい言葉の発見、書き順の再確認などのスキルアップはもちろん、正しい姿勢で書くことで姿勢も良くなり、心が落ち着き、集中力が培われ、脳を活性化します。「生涯学習」という言葉があるように、書道は何歳からでも始められる素晴らしい学習のひとつです。また、教室に通

うことで一緒に学んでる方たちとコミュニケーションの輪が広がります。

10年以上学ばれているベテラン、最近始められたひとなど色々な方と同じ教室で学ぶ事により、自分の書道技術だけではなく、仲間の方の書き方も非常に参考になります。現在はメールなどでの文章のやり取りが主流となっていますが、年賀状、お世話になった方へのお礼状など手書きの文章という文化はまだまだ残っています。機会を見て書道という文化を学んでみませんか！

(末満 善明 記)



カラオケ講座

カラオケ講座の今

この講座の良い所は、男性歌手、女性歌手と交互に新曲を習うことです。以前は、女性の曲は聞くことだけで、歌ってみると新しい発見がありました。音楽って本当に素晴らしいと思います。

ます。心掛けていることはその人になりきって歌うことです。幸せの曲より、別れの曲が多いです。我々の年代になると、皆さんはいろいろな経験をしてくいて、それが琴線に触れると思います。歌とは不思議なもので、初めて聞く曲でも、とても感動することもあります。

これからは山口里美先生の指導の下で楽しく歌っていきます。

(伊藤 賀 記)



陶芸講座

陶芸を始めて得たもの

今年度から陶芸講座に仲間入りさせていただきました。

初めて目にする陶芸の道具、粘土の荒練り、菊練り、初めて耳にする言葉に手も動かず頭にも入らず、間違った世界に足を踏み入れたのでは...と、不安だらけのスタートでした。



諸先生の優しいご指導と先輩の方達のお気遣いのおかげで、今では少しずつですが作業にも慣れ、最近は一週に一度の陶芸が待ち遠しくなってきました。

講座はテーブルを囲んで会話も楽しみなが、各自が意欲的に制作しています。北海道シテ陶芸展への出展、また秋の文化祭に向け、各々制作に取り組んでいます。一つの作品が出来上がるまでには、色々な工程があり、一つずつ達成することで、達成感を味わうことができますし、新たな趣味とお仲間に出会え、充実感や満足感も得ています。私は基本コースで基礎を学んでおり、まだまだ大人の粘土遊び程度のことしかできませんが、楽しみなが、自分だけの作品で日常に彩りを添えることができるようにと頑張っていきたいと思っています。

(長谷川 幸江 記)

コーラス講座

暑さにもめげず

暑いレッスンに燃えたこの夏... 大変！。地球が壊れちゃったー!! と叫びたい程北海道民にとって厳しい猛暑に見舞われたこの夏も朝、夕は涼しい風が肌に心地良い爽やかな季節を迎えました。

さて、私達コーラス講座は16人(男性1人ですが混声合唱団?)のメンバーで今年も歌声の素敵な鈴木真由美先生と力強く優しいピアノ伴奏が魅力の葛谷奈緒先生ご指導の下10月の文化祭を目指して切磋琢磨してきました。若干メンバーの入れ替わり





健康太極拳講座

健康太極拳との出会い

昨年UHB大学に入学し午後からの選択講座を選んだ際、それまで車にドブリー浸かった毎日足腰の衰えを自覚していた。昨今は人生100年時代と言われ、残りの人生の持ち時間も長くなり、何をすることも足腰を鍛えなければと思ひ太極拳が如何なるものかも知らず、漠然と私に

もありましたが、とりわけ急な病いで共に歌ってきた仲間を失ったのは悲しい出来事でした。月2回のレッスンは鈴木先生ご指導による発声の為のストレッチ体操に始まりますが、これがなかなかの厳しさ。「ダイエット出来そう」と期待するのは人私だけでしょうか。とは言え先生のユーモアたっぷりなお話に笑いの絶えない2時間です。一緒に「歌の翼に」乗って大空をたまたよつてみませんか。

(北崎 姉子記)

も出来るかなあ?と加入しました。

初の自己紹介の時に前述の理由と「少しでも痩せたいので」と言うと浦田先生から言下に「痩せません」と言われ、皆さんの笑いを誘いました。しかし、太極拳はゆったりとした動作の中でもジワッと汗をかき、私的には内臓脂肪が少し減るのではと密かに期待しています。

あつという間に1年が経ったのですが、のんびりの性で奥の深い太極拳なので諸先輩の足元にも及びませんが、先生は優しく焦らす事もないので何とか続けられています。今年は新しく男性2人、女性5人が加わり、7月に開催した歓迎会並び親睦会は、和気あいあい楽しく盛り上がりしました。

仲間の人達とも少しずつ打ち解けて楽しみながら身体をほぐして、残りの持ち時間をアクティブに過ごせるようにゆくりと続けようと思っています。今まで運動が苦手な人も足腰をゆとりと鍛えると同時に脳の活性化にも繋がるとの事ですので、健康太極拳を是非ともお勧めします。

(丸山 悦子記)

パソコン講座

パソコンは身近なもの

最初は、基本ソフトとなるWindowsの説明から始まり、パソコンの電源を入れるところから指導していただくので、初心者の方でも安心して受講できるのがパソコン講座です。文字入力の基本、画面操作の基本、ファイルの仕方などを学び、インターネットを利用し画像を加工して暑中見舞いのハガキを作成しました。



パソコンを実用的に使用できると楽しくなります。その後は、ワードソフトを使い文章の作成を学びます。文字加工・表作成・図の挿入など、あつと驚くような機能を経験し、IT(情報技術)の進歩と自分たちの成長を仲間と共感することが出来ます。受講者は、ワードで知り得た技術を駆使し文化祭作品展にA4版ポスターを作成、展示することによって、充実感・達成感を味わうことが出来ます。後半の講座はエクセル・パワーポイントと進みます。一般的に難しいと敬遠されがちですが、その利便性を知り得ますと家計簿や住所録など生活に活用したくなります。締めくくりにして、ワーポイントを学び、受講者は先生のご指導を受けスライドを作成し、プレゼンテーションを経験します。先生の模範プレゼンテーションが楽しみです。

(湯本 優子記)

英会話(AY・ASE)講座

楽しいクラス

新しく入学した方を含め9人のクラスです。

毎回、先生が「ハロー!!!」と入って来て出席を取り、動詞の現在形と過去形を練習します。最近では、その動詞を使って文章を作ったりします。次に、毎回決めたテーマについて、一人ずつ考えや経験を英語で発表します。それについて質問する時、つい日本語で言ってしまうと「フージャバニズ」と



先生に言われてしまします。その日によつては天候や健康等についての話題があり、英語の表現を学んでいます。先生は大通11丁目や円山公園の池の生物に詳しく(カモやヘビ?) スマホで撮った写真を見せてくれたりします。10分の休憩をはさみ時間はアツと言う間に過ぎていき、毎回、楽しく仲良く英語を学んでいます。

(塚田 記代子記)

英会話(AY・C)講座

目からうろこのレッスン

今年度のCクラスは、長く在籍していた方々が卒業され、継続2人(1人休会中)に男性1人、女性2人が加わりスタートしましたが直ぐに男性が病氣療養でしましい実質女性3人で活動しています。

担当はベテラン講師の杉野先生。授業はテキストを中心に日常生活に役立つ英会話を場面ごとに教えてくださいます。少人数ならではのきめ細やかな指導で、学生以来のかすかな記憶頼りの英語力ですが、疑問も恥ずかしくなく質問でき、明確な答えをいただけます。同じような意味合いの単語の相手や場面によって使い分けや文章の語尾の上げ下げで意味が違ってくる事等を知り、使える英語はこのようなレッスンで培われるのではと感じています。

とはいえ、若い頃の記憶力とは雲泥の差がある昨今。それが実につくのはいつの日か、細く長く続けるしかありません。英語を学びたいと思ひながら、今一つ勇気が出ない方でも、このクラスなら大丈夫!! WELCOMEモード全開です!!

(池浦 尚美記)



英会話(AYD)講座

ブラボー!! 英会話教室



眼鏡を掛けたキュービッドルが満面の笑みを宿したような御人が我が英語教室の指導者。彼女を中心に男女各4人で今年度の学習が展開されている。

その様子は、前半は各自が個人・家族、趣味旅行等多様な内容を英語で表現し合う。指導者は一人ひとりの発表を優しく丁寧に受け止め彼女の全身を駆使して共鳴・共感してくれる。その間に重要語句やセンテンス等を板書により色々な例も上げて詳細に教示してくれる。こんな場面もあった。一人の話し手が自分の故郷を懐かしく回顧した発表後、遙か遠い母国イングランドから来日した指導者の望郷心も鑑み全員で童謡「ふるさと」を歌い、拍手喝さい。しばし余韻に浸った事。

後半の学習は特定のテキストによる学習展開。事前の予習が余裕を持って学習効果を高められる。年代の相違を超越し各自の英語力を相互に理解し合い、和気あいあいとした雰囲気の中でスマイル溢れる英語学習は次なる英語力のステップアップへ自ずと導いてくれるであろう。楽しく学ぶ英語学習をみんなが目指して次回にまた。

ブラボー!! 我が愛する英語教室

(松原 正幸記)

旅行に役立つ英会話講座

海外旅行に行きたい!!

今年の教室は女性2人が新しく加わり女性6人、男性2人の計8人でスタートしました。

先生の英語の挨拶から始まり、終わりまでほぼ英語のみの時間。毎回出される宿題に対する発表に緊張



し、テキストに沿ったテーマごとの会話に納得、感心しながら授業は進められていきます。

テーマはホテルやレストランなどでの会話で、海外旅行に行った時にはすぐ使えそうなものばかり。先生は優しくゆつくり、わかりやすい英語で意味を教えてくれるので、今すぐでも海外旅行に行けるのではないかと錯覚してしまいます。

授業の途中のブレイクタイム(通称「モグモグタイム」)で、一旦頭を休めた後は、ペアを組んでの会話練習、そして終盤に配られるプリントには、相談しながら答え合わせ。全問正解した時には拍手喝采!

「旅行に役立つこと間違いなし!」の英会話講座で行った気分になりながら、しつかり準備して、海外旅行に行きませんか!!

(中村 泰子記)

日帰りバスツアー開催

コロナも収まり4年振りのバスツアーを開催。7月28日の快晴の中、学生23人と事務局3人が参加。中山峠を経由して開業3周年のウボボイ民族共生象徴空間を目指した。

まずは、きのこ王国大滝本店ではばすの休憩と買いものに立ち寄り、次に目指すは伊達市大滝区にある三階滝公園。大自然を流れる渓流を望むことが出来る癒しのスポットを散策、秋には美しい紅葉も観られるそう。バスに揺られ散策で軽く体を動かした後は、お待ちかねのランチタイム。会場の



ファームレストランKANTOでは白老牛や道産豚などの焼肉コース料理、サラダや自家農園いちごを使ったデザートも堪能した。昼食後ウボボイへ体験交流ホールではアイヌ民族の儀礼や日常親しまれてきた歌や踊りの伝統芸能を鑑賞、国立アイヌ博物館も見学した。広い敷地内には、色々な施設が大自然の中に浮かび上がって建ち並ぶ。園内中心にあるポロト湖は雄大な眺めだった。最後に虎杖浜大漁番屋で買い物をし、全員無事札幌に到着した。

ビールで暑気払い! 納涼ビアガーデン開催

8月8日札幌東急屋上ビアガーデンで4年振りに開催した。

学生34人が参加、加藤学長の乾杯の音頭で始まった。生ビール、ハイボール、ソフトドリンクなど70種類以上が2時間飲み放題に加えボンレスリブや生ラムシシスカン、ガリリックライスなどの食べ物も豊富で、会は大いに盛り上がった。

久しぶりにお酒を酌み交わしながら談笑する皆さんの顔をみることでできて事務局一同喜びの時間となった。

お料理教室&ランチ会

UHB大学の人気企画「お料理教室&ランチ会」が11月27日に開催された。今回はイタリアン・クリスマスパーティーを想定したメニュー設定とした。

会場は「レストラン フォレスト・ピアンカ」普段は結婚式会場でもあるため本格的なイタリアンを提供するレストランだ。南区藻岩下にあり、遠方地



のため参加者が集まるかどうか、心配していたが、さすがの人気企画! 最少催行人数を優に超え26人が参加した。豪華な店内の内装、シェフの手元を映し出す映像も完備しており、設備も充実。手元に用意されたレシピに沿って料理教室が開始された。

グリーン・ラグー・パスタなど聞きなれないメニューであったが、一般家庭にある食材を使用しているため自宅でも調理が可能だ。デザートを含む4種の講習が終わった後、いよいよお待ちかねのランチ会! 講習を受けたコースメニューが提供され、料理と会話を楽しんだ。ワインのおかわりも進み、時間が足りない様子であった。手土産のフオカッチャもあり、皆様満足な様子。次回開催を望む声も多く寄せられた。

uhb 大学 アンケート 集計結果

アンケートの目的

UHB大学学生の皆様のご要望をカリキュラムに取り入れ、層魅力的な生涯学習講座として発展させていく事を目的とします。

アンケート対象者

UHB大学在校生

アンケート期間

2023年9月26日(火)～
10月17日(火)

アンケート回収結果

72名

一般教養講座について

一般教養講座で取り上げて欲しい、あるいは関心のあるジャンルに○を付けて下さい。
※複数回答可



一般教養講座で今後聞いてみたい講師の方及びテーマをご記入下さい。
※講師名またはテーマのみを含む



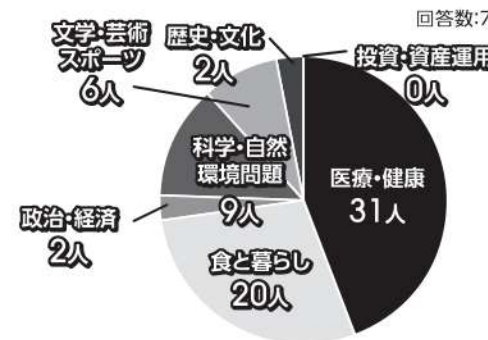
〈回答の一例〉

- 方波見 康雄
「日々生活の中の雑談など…」
- 小林 正伸
「腫瘍学」
- 本間 敏男
「乳癌」
- 金浜 衣妃子
「失語症」
- 香山 リカ
「延命治療」
- 伊藤 一輔
「笑い与健康」
- 消費者支援ネット
「サギに負けない」
- 和田 哲
「誰かに語りたくなる札幌の歴史」
- 森川 勝彦
「旅は三つの楽しみ」

●施設の栄養士
「高齢者に不足がちか栄養素」

- 田中 英彦
「食・農業に関するテーマ」
- 高橋 杉雄
「日本で軍事を語る」
- 小泉 悠
「ウクライナ戦争」
- 寺島 実郎
「世界的な日本の現状」
- 森永 卓郎
「世界の金融市場」
- 道新 鈴木編集委員
「新幹線延伸に伴う諸問題」
- 池上 彰
「時事問題をわかりやすく」
- 橋下 徹
「日本の将来」
- 小林 快次
「北大博物館 旅」
- 岡崎 朱美
「家庭で出来る省エネ (オートファジー)」
- 吉森 保
「生命科学の先端」
- 栗山 英樹
「前WBC監督 世界への激闘」
- 夏井 いつき
「俳句について」
- 稲葉 G M
「エスコフィールド 北海道の今後」
- 舟本 秀男
「北海道開拓の歴史」

●原 俊彦
「人口減少
「縮減する未来の課題を探る」



〈回答の一例〉

- 竹政 伊知朗
「手術支援ロボット」ピノトリ」
- 石垣 靖子
「物語られるいのちに寄りそう」
- 上田 知行
「ウォーキングで体力維持」
- 和田 哲
「誰かに語りたくなる札幌の歴史」
- 川添 敏弘
「動物にとつての幸せを
「犬猫とのつながり」
- 石井 智美
「食べることをめぐる話」
- 鈴木 宏一郎
「地域の地域による地域のための
観光の応援を」

●追田 義博
「鳥インフルエンザの流行と
社会への影響」

- 忍 弥
「日本伝統音楽の魅力」
- 熊谷 百合子
「朗読で新たな感動を」
- 山本 純一
「カムイの大地 悠久の時を超えて」
- 宮下 祥子
「クラシックギターと歩み25年」
- 堀越 祐一
「秀吉政権下における徳川家康」
- 月岡 道晴
「いにしえの日本を探る」

短期講習会を開講するとなら
どんな講座を希望しますか？

- 脳トレ
- スマホ
- 筋肉トレーニング
- 体操
- 手話
- 相統

同好会活動

パークゴルフ同好会

猛暑に負けず

パークゴルフは初心者からベテランまで、健康的な体力づくりを図るスポーツです。会員相互の『健康と体力の増進』と他講座の学生と『親睦と交流』を深めることをモットーに楽しく、真剣に熱戦を展開しています。今期は24人のメンバーでスタートしました。6月から10月まで6回の開催ですが、今シーズンは予想もなかった猛暑が続き、開催も危ぶまれた時もありましたが、猛暑、熱中症にも負けず会員の頑張りで中止もなく6回開催できました。来期も猛暑の予想が出てます。開催方法の検討が必要と思われます。回を重ねる毎に上位者はハンディが重くなります。優勝のあとブレイクという珍現象？もありました。(それも実力者)今期は2回優勝者が2人、女性の初優勝者が3人です。

10月は薫りの里パークゴルフ場で納会を兼ねた例会の後温泉と豪華弁当をいただき秋の一日を満喫しました。パークゴルフ同好会は和気相合とパークゴルフを楽しむ会です。是非仲間になって戴きたいものです。全ての例会はバス送迎です。

(早瀬俊幸記)

令和5年度10月例会成績(10月11日) 新200里パークゴルフ場Cコース

優 勝	西尾 敏明 (28期生)	スコア 123(HC 5)
準優勝	竹下 正昭 (UU会員)	スコア 125(HC 10)
第3位	早瀬 俊幸 (UU会員)	スコア 126(HC 10)
優 勝	保木 和子 (UU会員)	スコア 136(HC 0)
準優勝	伊達三和子 (UU会員)	スコア 138(HC 5)
第3位	牧野 文子 (35期生)	スコア 145(HC 7)

※9月の例会(コーススケープ輪厚)は18ホール終了後雨天により中止となりました。

令和5年度 8月例会成績(8月24日) 鶴岡国際パークゴルフコース

優 勝	荻原 博 (UU会員)	スコア 126(HC 7)
準優勝	新見 哲也 (UU会員)	スコア 123(HC 0)
第3位	尾崎 耕策 (UU会員)	スコア 130(HC 10)
優 勝	熊澤 倫代 (UU会員)	スコア 137(HC 0)
準優勝	室崎 洋子 (36期生)	スコア 139(HC 20)
第3位	須藤 紀子 (33期生)	スコア 151(HC 0)

令和5年度 7月例会成績(7月28日) 三川パークゴルフクラブ

優 勝	山下 貢 (30期生)	スコア 118(HC 10)
準優勝	早瀬 俊幸 (UU会員)	スコア 123(HC 0)
第3位	西尾 敏明 (28期生)	スコア 129(HC 0)
優 勝	瀬戸 利枝 (33期生)	スコア 141(HC 0)
準優勝	牧野 文子 (35期生)	スコア 142(HC 0)
第3位	三浦 和恵 (33期生)	スコア 145(HC 0)

第7回コンペ(9月27日)
羊ヶ丘カントリー倶楽部

優 勝	北本 武雄 (19期生)	N71	H25
準優勝	守田 敏治 (35期生)	N71	H25
第3位	菊地 栄一 (33期生)	N75	H 7
第4位	川尻 晴夫 (UU会員)	N75	H12
第5位	後藤 政則 (28期生)	N76	H31

第6回コンペ(9月13日)
滝のカントリー倶楽部 東・中コース

優 勝	菊地 栄一 (33期生)	N74	H 9
準優勝	川尻 晴夫 (UU会員)	N80	H13
第3位	守田 敏治 (35期生)	N80	H25
第4位	里中 哲夫 (UU会員)	N81	H15
第5位	及川 隆夫 (UU会員)	N83	H19

※8月23日に予定されていた第5回のコンペ(サバキ札幌ゴルフコース)は、猛暑の為中止となりました。

第4回コンペ(7月12日)
札幌リージェントゴルフ倶楽部 新コース

優 勝	渡邊 理彦 (UU会員)	N68	H25
準優勝	泉 敏博 (35期生)	N71	H24
第3位	八戸 洋 (36期生)	N71	H24
第4位	菊地 栄一 (33期生)	N72	H 9
第5位	伊藤 正夫 (UU会員)	N72	H11

ゴルフ同好会

※オーブコンペは秋晴れの中10月11日札幌エルフカントリークラブにて開催。ゲスト参加含め25人でシーズンの最後のプレーを楽しんだ。

成績は及川隆夫さんが優勝、準優勝は川尻晴夫さん、第三位には館田周 さん、すべてUU会員で占めた結果となった。

おめでとうござます

★令和5年度第52回札幌芸術賞を陶芸講座講師下沢敏也先生が、北海道や札幌における陶芸の文化芸術の振興に大きく貢献され受賞されました

★第51回北海道陶芸展(北海道陶芸協会主催、北海道新聞社共催)において、大石俊久先生が作品名「表層」で土泡賞を受賞されました。

★第41回北海道シニア陶芸展(北海道陶芸協会主催)において、28期生西尾敏明さんが作品名「早晩」で北海道火災共済協同組合賞を受賞。18期生青井紀子さんが作品名「らんまん」で会員優秀賞を受賞。29期生飯塚智子さんが作品名「凜」、32期生川岸しのぶさんが作品名「春らんまん」、30期生菊地好江さんが作品名「古木」でそれぞれ奨励賞を受賞。35期生泉敏博さんが作品名「黒刷毛目皿」で2部奨励賞を受賞されました。また、28期生館田靖子さんが会員推挙されました。

編集後記

☆紅葉色付き始めた秋晴れの日、第36回文化祭が開催され無事終了しました。

講師先生はじめ関係各位の皆様のご協力のお陰と感謝致します。

ゲストには令和4年札幌芸術賞を受賞したピアニストの大平由美子さんをお迎えし、力強く優しい音色を堪能しました。

☆コロナ感染拡大以降初となるバス旅行などイベントなども開催。事務局は忙しい日々でしたが、これからも皆さんに楽しんでいただける企画をご案内できるよう一同全力を尽くしていきます。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

【お知らせ】

道新ホールの閉館に伴いUHB大学一般教養講座は2024年4月より共済ホールに変更となります。

共済ホール：札幌市中央区北4条西1丁目1 共済ビル6F

※2024年3月までは今まで通り道新ホールにて開講いたします。

発行
uhb大学
事務局
札幌市中央区
北1条西14丁目
北海道文化放送内
(011)214-5225